期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	194,643,000	①　期間進行基準を採用した業務 【労苦継承事業費】 ＜資料収集経費＞　　資料・図書等購入費 ＜資料保管経費＞　　保管倉庫賃借料 ＜資料展示経費＞　　資料館警備経費 ＜記録の作成・頒布経費＞総合データベースシステム機器借料・保守料 その他、労苦継承事業費における各業務にかかる共通経費 【書状等贈呈事業費】 書状等贈呈事業費における各業務にかかる共通経費 ②　当該業務に関する損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：151,242,395 【労苦継承事業費】 （賃借料：80,501,262、光熱水料：8,271,836、消耗品費：1,366,922、保守・修繕費：20,041,077、通信運搬費：2,254,606、業務外注費：27,274,049、謝金：9,694,370） 【書状等贈呈事業費】 （賃借料：1,137,204、光熱水料：554,557、消耗品費：141,512、通信運搬費：5,000） イ）自己収入に係る収益計上額：該当ありません。 ③　運営費交付金収益化の積算根拠 各経費とも、運営費交付金財源予算額を収益化しております。
	たな卸資産見返運営費交付金	0	
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	194,643,000	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	137,741,577	①　費用進行基準を採用した業務：上記業務達成基準、期間進行基準を採用した業務以外の全ての業務 【労苦継承事業費】 ＜一般慰藉共通経費＞　　職員人件費、法定福利費、その他の人件費 【書状等贈呈事業費】 ＜書状等贈呈事業共通経費＞　　職員人件費、法定福利費、退職給付費用 【一般管理費】 ＜その他の管理諸費＞ 役職員人件費、法定福利費、退職給付費用、その他一般事務処理経費 ②　当該業務に関する損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：256,746,953 【労苦継承事業費】 （給与、賞与及び諸手当：44,093,331、法定福利費：5,764,635、その他の人件費：22,680,067） 【書状等贈呈事業費】 （給与、賞与及び諸手当：25,756,282、法定福利費：3,427,993、退職給付費用：1,476,725） 【一般管理費】 （役員報酬：28,607,604、給与、賞与及び諸手当：70,024,482、退職給付費用：2,293,575、法定福利費・福利厚生費：12,163,331、賃借料：694,274、消耗品費：3,099,689、保守・修繕費：2,002,007、印刷製本費：206,850、通信運搬費：5,888,868、業務外注費：24,804,038、旅費：299,920、謝金：2,031,220、その他業務：1,432,062） イ）自己収入に係る収益計上額： 有価証券の運用益　120,222,642
	たな卸資産見返運営費交付金	0	
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	137,741,577	